

石川県能登町との交流で小学生が海浜学習を体験

日本海の青い海を楽しみながら学びました！

8月8日・9日、信濃小中学校の4～6年生の児童約20人が、石川県能登町の九十九湾で「のと海浜学習体験」を行いました。能登町は、信濃町と同じく千葉県流山市と姉妹提携をしており、その縁から浜学習体験を行いました。この海浜学習は能登町でスノーケリング体験や魚釣りなどから「海」について学ぶことが目的です。参加した小学生は、のと海洋ふれあいセンターで海の特徴や危険性についての講義を受け、スノーケリングの基礎的な技術と海の生き物を実際に教えてもらいました。その後、海でアカテガニの観察、魚釣り、スウェットスーツを着てスノーケリング体験をしました。この2日間、参加した子どもたちは、思いっきり海を楽しみ学んだようでした。

～「スノーケリング」って何？～

「スノーケリング」とは、スノーケル、マスク、フィンなどを使用し、水面にプカプカ浮かびながら水中を観察することです。スノーケリングは、もっとも手軽なマリネジャーであるばかりでなく、海の自然観察の手段として、多くの人に親しまれています。



これから海の観察会！！ のと海洋ふれあいセンターの講義



信濃町から新たに1事業が採択されました

長野県元気づくり支援金の第2次募集採択

地域に元気を生み出すために、地域の熱意で自主的・自発的に実施する事業を、長野県が支援する「元気づくり支援金」。今年度の第2次募集で、信濃町からは新たに1つの事業が採択されました。春の第1次募集と合わせて、信濃町では計7事業が採択され、総事業費2,288万円に対して、長野県からの支援額は1,046.8万円となりました。

図総務課 まちづくり企画係 ☎(255) 5920



小林一茶生誕 250 年記念事業

～一茶イヤー「わ！」でつなぐ北信濃観光～



一茶生誕 250 年夏まつり実行委員会

■事業費 7,400,000円

■助成額 2,450,000円

小林一茶を核とした広域周遊型観光を推進するため、周辺市町村や地域団体等の協力を得て8月31日に観光イベントを開催するほか、一茶をモチーフにした信濃町の新たなマスコットキャラの募集を行う。

黒姫駅・古間駅を多くの皆さんに利用いただくことを目指して活動しています

みんなで乗って！一茶と一緒に目指せ、年間40万人！！



1 企画イベントでアルクマ（JR駅長バージョン）が黒姫駅で出迎えと見送りをしました。/
2 上田-黒姫間を運行した併行列車「いろどり」

平成27年3月の北陸新幹線金沢延伸開業に伴い、長野以北のJR信越本線は、しなの鉄道が「北しなの線」として経営を引き継ぎます。地域の貴重な路線を未来に残していくため、多くの皆さんの利用が必要ですが、平成12年に約64万人あった利用者が、平成22年には40万人を割り込んでいます。町と「信越本線黒姫駅・古間駅応援！ファン倶楽部」では、多くの皆さんに鉄道を利用してもらう取り組みの一環で、8月4日に一茶生誕250年記念家族で楽しむ俳句会に併せて、上田-黒姫間に併行列車「いろどり」を運行、鉄道で信濃町へお越しいただき、バスで童話館、博物館、一茶記念館などの観光を楽しんでいただく企画イベントを開催しました。黒姫駅前では、町商工会による焼きトウモロコシなどの特産品の販売や長野県観光PRキャラクター「アルクマ」（JR駅長バージョン）も登場しました。

今後も地域の鉄道を未来に残す活動を、皆さんと協働で進めていきたいと思っています。



BOY
こさか やまと
小坂 大和ちゃん(古間)
お母さん:園枝さん
我が家の癒し系アイドルやまと。ねねたちとたくさん遊んで、元気に大きくなあれ！

GIRL
よしやま あおい
吉山 葵ちゃん(穂波)
お母さん:奈緒美さん
フルーツとお父さんが大好きな葵。いっぱい食べて、沢山遊ぼうね。

げんきっこ
Genkikko
1歳半児健診に来てくれた
おともだち
お母さんのメッセージ付き！
9月

BOY
はっとり ごうき
服部 剛樹ちゃん(柏原)
お母さん:玲江さん
4番目でみんなにもまれてすくすく大きくなっていますね。いっぱい食べて大きくなってね！

GIRL
かとう ゆうな
加藤 由菜ちゃん(野尻)
お母さん:美央さん
もうすぐお姉ちゃんになる由菜ちゃん。大きくなっても仲よし親子でいようね！！

BOY
おおくさ まさゆき
大草 征之ちゃん(平岡)
お母さん:素子さん
あなたは皆のお宝です。すくすく大きくなって下さいね。

GIRL
かたやま りほ
片山 凜星ちゃん(柏原)
お母さん:房枝さん
活発で元気な女の子。お兄ちゃんと仲良くあそんで大きくなってね。

遊覧観光船「雅」の船舶事故を想定して

野尻湖で消防演習が行われました

8月6日、野尻湖で長野市消防局の消防演習が、署員、町消防団、水上安全協会等、約80名が参加して行われました。この訓練は、野尻湖で船舶などによる事故が起こり、多数の要救助者と船舶火災が発生した場合を想定して行われました。悪天候により消防防災ヘリコプターは来ることができませんでしたが、実際に遊覧観光船「雅」、救助ボート、ダミー人形、負傷者役を使った実践さながらの救助、応急救護所を設けての負傷者の救護、消火といった様々な訓練を行いました。訓練後、長野市消防局の岩倉局長は、「関係機関の情報の共有と訓練の積み重ねが大切であり、今後も継続して行っていきたい」と話されました。

